

# たんぽぽ うしん

第23号

〔編集人〕社会福祉法人 札幌協働福祉会／アクティビティ・サポートセンター協力会 牧野 秋夫  
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移 147-3 TEL：011-792-3969／FAX：011-792-2887  
HP <http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp> E-mail:info-honbu@sapporo-kyoudoufukusikai.jp  
〔発行人〕北海道障害者団体定期刊行物協会 〔発行〕2014年6月10日発行(毎月10日発行) 〔定価〕20円

## 第14回 高岡・スウェーデンヒルズ祭に寄せて

社会福祉法人 札幌協働福祉会 常務理事 宮野 英隆

6月14日(土)に第14回高岡・スウェーデンヒルズ祭が開催されます。この催しは2001年のサポートセンターの開設に合わせてスタートしております。

サポートセンターの開設にあたって、日中の活動場所をどう確保しようかと模索しておりましたが、廃校となっておりました高岡小学校が距離的にも規模からしても最適ということで、高岡町内会の当時の会長の松永武さんをお願いに伺いました。当時はまだまだ知的障がい者への差別・偏見が多い時代だったので、どんな反応をしてくれるのかと不安でしたが、松永会長は私たちの話を真剣に聞いてくれ、その後町内会の意見をまとめ当別町役場へ働きかけていただきました。

このような経緯から第1回目は、高岡町内会への感謝の集いとして開催されました。2003年の第3回は隣の町内会のスウェーデンヒルズも含め、高岡・スウェーデンヒルズ町内会に感謝する集いとして開催さ

れ、その後2009年まで続きました。

2010年に至り、地元の方々から地元のお祭りとして発展させたいという声があがり高岡・スウェーデンヒルズ祭となり現在に至っております。

今年度は、昨年に引き続きサハリンから障がい児を招待しておりますし、放射能被害からの避難者家族の方々も参加予定です。お祭りの実行委員会の方々は、昨年以上に楽しいものにしようと張り切っております。

多数のご来場を心からお待ちしております。



### 行事予定

《拓北・あいの里地域の行事予定》

- 6月22日(日)～23日(月)  
連町1泊町内会長研修会
- 6月29日(日) あい～愛ウォーク

《札幌協働福祉会の行事予定》

- 6月1日(日) 山の家's イベント Part1  
「おもちつきをしましょう!命のことを学ぼう!」
- 6月11日(水)～15日(日)  
サハリン障がい施設の子ども招待事業
- 6月17日(火)～7月15日(火)  
札幌協働福祉会 各事業所夏キャンプ

第14回

札幌協働福祉会主催

## 高岡・スウェーデンヒルズ祭

◎日 時：6/14(土)11:45～15:00

◎場 所：石狩郡当別町高岡 1813-1  
当別・高岡アクティビティセンター  
グラウンド特設ステージ

◎問合せ：当別・高岡アクティビティセンター  
TEL：0133-25-3661



無料送迎バス運行

毎年恒例の  
お楽しみ「抽選会」  
もあります!

5/3(土) ~ 5(月)

# せたな・松前町をめぐる旅



札幌協働福祉会では5月3日から5日までの日程で、桜が見ごろを迎えた道南地方のせたな・松前町をめぐる旅行会を行いました。

「花見」「パークゴルフ」「釣り」の3組に分かれ、それぞれに春を満喫していました。



## 花見

4日は絶好の行楽日和。みなさんは桜が見ごろの松前公園内を桜見物



## 昼食

3日は有珠山パークエリアで楽しい昼食タイム



車中での様子



4日は上ノ国「道の駅・もんじゅ」でひと休み



せたな町の久遠漁港にて、釣りチームの様子



## 釣り

宮野さんが釣りあげた黒ガシラ



ゲット!



## パークゴルフ

狙いを定めて...

ナイスショット!



新緑のコースでプレー

## 宴会

みんなで「かんぱい!」



熱唱カラオケタイム



「国民宿舎・あわび山荘」にて



ハイポーズ!

## 4/20(日) 協力会総会

4月20日、「平成26年度アクティビティー・サポートセンター協力会総会」が「拓北・あいの里地区センター」で開かれました。最初に協力会の牧野会長が挨拶に立ち、会場の皆さんへ法人的行事への積極的な参加を呼びかけ、また今回報告される事業内容について「意見、疑問等ありましたら遠慮なく発言してください」と会場に向け話されました。つづいて池田総合施設長から協力会の前年度事業、決算報告、そして今年度の事業計画などが細かに報告され、会場の皆さんに了承されました。



牧野会長



各事業所のスタッフを紹介

その後、総会は新年度を迎えた各事業所のスタッフが正面に並び、それぞれに紹介されました。

# インタビュー 1

拓北・あいの里連合町内会会長  
**松井 正彦氏**

今回から地域で活躍されている方のインタビュー記事を連載していきます。  
第1回目は、南あいの里町内会が加わって、札幌市内有数のマンモス連町になった拓北・あいの里連合町内会の松井会長に地域の課題と連町の取り組みを伺いました。

## 今年度の2大事業 高齢者の見守りと災害時要援護者のとりまとめ

▼定期総会が終わりましたが、今年最大の課題はなんですか。

**松井氏** 二つあります。一つは高齢者の増加、なかでも65歳以上の一人暮らしでお世話が必要な方が増えています。社会福祉協議会・民生児童委員協議会・統一パトロール隊の3者で見守り活動を推進していきます。その集約が終盤にきていて上半期には終わります。

民生児童委員協議会のパトロール隊が外から安否確認、見守りの活動を展開していくこととなります。今年の重要な事業です。

もう一つは、一昨年と昨年で防災マップを作り上げたので、今年度は災害時要援護者のとりまとめを中盤から後半にかけてやっていきます。災害が起こった時に支援が必要な人と支援できる人がどのくらいいるかを把握します。

▼まちづくり委員会の取り組みは？

**松井氏** もの凄くやっています。福祉関係では、介護老人施設ができました。南あいのさとの関係では、あいの里教育大駅に南改札口ができました。今後の課題として信号や交通標識の整備があります。また、あいの里東小学校の児童数が急増しましたが、学区制の見直しで平準化できたと思います。

▼全国的にも珍しいケア町内会は、この地区の大きな特徴ですね。

**松井氏** 福祉関係の施設があっても、現実には何をしているかわからない、横の連携もないなどから町内会をつくり、地域の人に知ってもらい、地域の人々の力を借りることが出来る形を作りました。

と思っています。どんな施設があって、どこに相談したらいいか、入るための手続きをどうするかといったことをまとめた福祉マップを作ることにしています。

▼学生が多いですから、若い人のまちづくりへの参加も大事ですね。

**松井氏** 「文教のまち」を掲げてきた地区ですが、学生と地域との連携が希薄です。北海道教育大学に、「まちの活性化に学生の力を」と働きかけはしているのですが、難しいですね。小中学校、高校も地域との連携は大事で、学生時代に地域を知ること、連携を学ぶことが教員になってから大切と思うのですが。

▼最後に札幌協働福祉会との協働についてどんなことを期待しますか。

**松井氏** 私が会長になってから、この地区に住む人が安心して暮らせる「福祉のまち」にするという考え方で事業に取り組んできました。そのなかで協働福祉会の役割は大きいものがあります。福祉の事業は地域との連携がないと成り立たず、地域があつての協働福祉会であり、また、協働福祉会の活動があつて地域が良くなっていく、そういう関係だと思います。



# 地域行事の紹介

## 連合町内会総会開催される

5月17日(土)、拓北・あいの里地区センターに於いて、「平成26年度拓北・あいの里連合町内会の表彰式・地区交流会」が160名の参加で開催されました。

松井連合町内会会長が開催のご挨拶をされ、阿部北区長が来賓者を代表してご祝辞を述べられました。また、松井会長は、引き続き連合町内会長を続けることになりました。



区長表彰を受賞された方々

## 事業所紹介コーナー ①

### 札幌協働保育園

【認可保育所・乳幼児併設】 定数120名  
1978年12月開設  
札幌市厚別区もみじ台西6丁目1-3  
TEL 011-897-5033 / FAX 011-897-5134

認可保育所として1978年12月に厚別区もみじ台に開所しました。36年が経過し老朽化のため、4月から新園舎の建て替え工事を行っています。そのため現在は旧園舎裏の病院施設を仮園舎として保育を行っています。

『**保育園の目標**』  
親と子どもと職員がともに育つ保育園に  
『**保育の目標**』  
自然の中で元気に遊ぶ子

当園のあるもみじ台地区は、札幌市の中では大変自然に恵まれた地域です。

近隣には「熊の沢公園」という大きな公園があり、春は桜や水芭蕉、夏は昆虫探し、秋はどんぐりやこくわが実ります。冬はそり遊びの場所に変わり、四季を五感で感じられる環境となっています。

また、年長さんは法人のバスに乗って遠足へ出かけたり、姉妹園のあいの里協働保育園との交流を持ちながら活動しています。

【文・札幌協働保育園 柴田 理恵】



# 山の家通信



仁木町冷水峠にある当法人の保養施設  
“山の家きょうどう”からの通信を毎号  
掲載します

4月いっぱいまで雪に埋もれた山の家、連休明けにはほとんど溶けました。赤茶けたまわりの林も少しずつ新緑に生え変わってきています。

雪解け期恒例の白樺の樹液採取、今年は暖かい日が続いたせいか、短期間で終わってしまいましたが、保存用に100ℓ以上採取できました。いま、山の家ではあいの里の学校給食の廃油とこの白樺の樹液を使った「お肌に優しいせっけん」づくりをしています。

5月連休は、福島原発事故の一時避難者で賑わった山の家。6月から毎月楽しいイベントを開催し、避難者・移住者とあいの里のみなさん、そして地元仁木・余市の町民のみなさんとの交流広場をつくっていきたいと考えております。(富塚)



白樺の樹液の採取

市内配達  
無料です!

自然志向の店 **あくていぶ**

～6月の特売品～

金笛 かつお・昆布・しいたけのだしをいかしたつゆ

◇春夏秋冬だしの素 1,135円→ **917**  
(1L 1本)

創建社 化学調味料不使用 チキンの旨みを凝縮

◇チキンコンソメ 260円→ **215**  
(4.5g×10袋)



—「自然志向の店 あくていぶ」について—  
障がい福祉サービス事業所「学園通り あくていぶ」で  
就労支援を行っているお店です。

自然志向の店 **あくていぶ**  
■営業時間 平日・土曜 10:00～17:00  
■定休日 日曜・祝日  
<http://sapporo-kyoudoufukusikai.jp/main/>  
札幌市北区あいの里3条4丁目9-1(歩道橋すぐ横)  
TEL 011-778-2377 FAX 011-778-2375

## 編集部より

広報部長 富塚 廣



4月から広報部長を拝命しました。インターネットで情報が飛び交う時代ですが、紙媒体の役割は終わっていません。電気がなくても消えずに、いつでも取り出せ、手で感触に触れながら、読んだり見たりできるのが紙媒体です。そして、空間を飛んでいくインターネット情報と違って、手から手へとわたっていく情報。その価値は見直されていいでしょう。

《たんぽぽつうしん》は、今回から月1回の発行を基本にタイムリーな情報提供に努めていきます。当法人の掲げる理念「ノーマライゼーション」「ジェントルティーチング」を情報発信し、「人権を大切にする」「共に生きる」という価値観を地域と共有し、福祉のまちづくりを一緒に取り組んでいきます。そのためのツールとして、地域から「信頼され、親しまれる媒体」をめざしていきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

HSK **たんぽぽつうしん** 第23号

◎住所変更や送付不要の方は、電話またはFAXにて下記までお知らせ下さい。

社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティー・サポートセンター協力会  
TEL011-792-3969  
FAX011-792-2887 (福田、松岡)

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可 HSK 通巻507号  
[発行] 2014年6月10日発行(毎月10日発行) [定価]20円  
[編集人] 社会福祉法人 札幌協働福祉会  
アクティビティー・サポートセンター協力会 牧野秋夫  
〒002-8055 札幌市北区篠路町福移147-3  
TEL: 011-792-3969 / FAX: 011-792-2887  
[発行人] 北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)